



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月1日

上場会社名 ジーエルサイエンス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7705 URL <https://www.gls.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 長見 善博  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 芹澤 修 (TEL) 03-5323-6633  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	5,524	△1.5	528	△8.6	522	△18.6	266	△27.9
2019年3月期第1四半期	5,610	9.9	578	39.8	642	43.1	370	37.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 337百万円(△20.7%) 2019年3月期第1四半期 425百万円(33.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	25.99	—
2019年3月期第1四半期	36.06	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	31,757	23,377	63.7
2019年3月期	32,080	23,489	63.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 20,227百万円 2019年3月期 20,415百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,100	1.5	1,080	△19.5	1,090	△26.2	660	△31.5	64.31
通期	24,850	0.2	2,480	△17.0	2,480	△21.0	1,550	△22.7	151.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	11,190,000株	2019年3月期	11,190,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	930,058株	2019年3月期	930,058株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期1Q	10,259,942株	2019年3月期1Q	10,259,974株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年6月30日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした設備投資や個人消費の回復が見られるなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速懸念、英国のEU離脱を巡る混迷など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境下におきまして、当社グループは、2018年度からスタートした中期経営計画(3ヵ年)の達成に向けて、成長と収益力及び品質の向上、海外戦略の推進、人材基盤や情報管理の強化等に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、5,524百万円(前年同期比 1.5%減)となりました。損益につきましては、営業利益 528百万円(前年同期比 8.6%減)、経常利益 522百万円(前年同期比 18.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益 266百万円(前年同期比 27.9%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (分析機器事業)

分析機器事業におきましては、全体的に動きの鈍い状況が続いております。前年同期と比べると売上高全体としては減収となりました。

装置の売上高につきましては、国内では環境関連、食品関連向けの大型装置が好調だった前年同期に比べ減少しました。海外では周辺装置類の落ち込みがあり、国内、海外を合わせた装置全体の売上高は前年同期比で減収となりました。

消耗品の売上高につきましては、国内では自動車関連、環境関連が堅調に推移しましたが、他の業種が低調な結果となり微減となりました。海外では、液体クロマトグラフ用カラム、キャピラリーカラムが堅調に推移し増収となり、国内、海外を合わせた消耗品全体の売上高は前年同期を上回り、第1四半期としては前期に続き過去最高を更新しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 2,920百万円(前年同期比 6.5%減)、営業利益は 124百万円(前年同期比 34.7%減)となりました。

#### (半導体事業)

半導体業界におきましては、昨年前半の活況から一転して、当第1四半期は、米中貿易摩擦等の影響からメモリー投資の減速傾向が一層顕著になり、先行きの需給動向を慎重に見極める状況が続いています。しかしながら、今後につきましては、5G通信やIoT,人工知能、ディープラーニング、自動運転の本格化等でデータ量の更なる増加が見込まれ、中長期的な半導体需要のトレンドは引き続き拡大していくとの見方は不変です。

このような環境の中、当事業は、足元の受注に若干の陰りはあるものの、これまでに蓄えた豊富な受注残高を背景に売上高、営業利益ともに前年同期を上回ることができました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 2,277百万円(前年同期比 4.7%増)、営業利益は 414百万円(前年同期比 9.6%増)となりました。

#### (自動認識事業)

自動認識事業におきましては、アミューズメント関連は終息しましたが、医療機器関連、アクセスコントロール関連が好調を維持している状況です。

製品分類毎の売上高は、「モジュール」は医療機器・警備機器関連向けが好調なため前年同期を上回ることができました。「完成系製品」は卓上型、壁付型が好調でしたが、インテリジェントターミナルは苦戦が続いているため、前年同期を下回りました。「タグカード」はOEM製品がまだ軌道に乗っていないため、前年同期を下回りました。「ソリューション」は中小規模案件を積み上げることができ、前年同期を大きく上回ることができました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は 325百万円(前年同期比 5.2%増)、損益につきましては利益率の低い案件の売上が影響し、営業損失は 11百万円(前年同期は営業利益 9百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の流動資産は受取手形及び売掛金の減少などにより19,551百万円(前連結会計年度末に比べ142百万円の減少)となりました。固定資産は投資有価証券の減少などにより12,206百万円(前連結会計年度末に比べ179百万円の減少)となりました。その結果、資産合計では31,757百万円(前連結会計年度末に比べ322百万円の減少)となりました。

### (負債の状況)

当第1四半期連結会計期間末の流動負債は短期借入金の増加や未払法人税等の減少などにより6,601百万円(前連結会計年度末に比べ86百万円の減少)となりました。固定負債は長期借入金の減少などにより1,778百万円(前連結会計年度末に比べ123百万円の減少)となりました。その結果、負債合計では8,380百万円(前連結会計年度末に比べ210百万円の減少)となりました。

### (純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は利益剰余金の減少などにより23,377百万円(前連結会計年度末に比べ112百万円の減少)となりました。自己資本比率は63.7%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,415,249	5,811,024
受取手形及び売掛金	8,422,206	7,490,273
商品及び製品	1,573,828	1,921,477
仕掛品	1,795,034	1,981,213
原材料及び貯蔵品	2,188,812	2,233,651
その他	302,376	133,607
貸倒引当金	△3,602	△20,098
流動資産合計	19,693,904	19,551,149
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,931,092	3,932,704
土地	3,406,791	3,406,791
その他（純額）	2,898,825	2,895,866
有形固定資産合計	10,236,709	10,235,362
無形固定資産	369,107	356,991
投資その他の資産		
その他	1,781,552	1,615,526
貸倒引当金	△1,267	△1,526
投資その他の資産合計	1,780,285	1,614,000
固定資産合計	12,386,102	12,206,354
資産合計	32,080,006	31,757,504
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,422,572	3,638,640
短期借入金	1,239,338	1,685,756
賞与引当金	533,873	266,770
その他	1,492,360	1,010,552
流動負債合計	6,688,144	6,601,720
固定負債		
長期借入金	1,246,508	1,147,936
役員退職慰労引当金	88,432	98,428
退職給付に係る負債	222,180	179,470
その他	345,099	352,669
固定負債合計	1,902,220	1,778,503
負債合計	8,590,364	8,380,223

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,207,795	1,207,795
資本剰余金	1,820,591	1,820,591
利益剰余金	17,532,192	17,388,438
自己株式	△509,262	△509,262
株主資本合計	20,051,316	19,907,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	356,000	267,505
繰延ヘッジ損益	△2,618	△6,239
土地再評価差額金	△312,234	△312,234
為替換算調整勘定	215,328	244,244
退職給付に係る調整累計額	108,100	126,539
その他の包括利益累計額合計	364,577	319,816
非支配株主持分	3,073,748	3,149,901
純資産合計	23,489,642	23,377,280
負債純資産合計	32,080,006	31,757,504

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,610,082	5,524,002
売上原価	3,618,692	3,559,035
売上総利益	1,991,389	1,964,967
販売費及び一般管理費	1,413,195	1,436,247
営業利益	578,194	528,719
営業外収益		
受取配当金	17,552	17,952
為替差益	17,181	—
持分法による投資利益	22,454	—
補助金収入	397	16,780
その他	12,703	7,703
営業外収益合計	70,289	42,435
営業外費用		
支払利息	5,230	4,988
為替差損	—	42,313
その他	1,023	1,388
営業外費用合計	6,253	48,689
経常利益	642,229	522,465
特別利益		
投資有価証券売却益	9,139	—
固定資産売却益	199	299
特別利益合計	9,339	299
特別損失		
固定資産売却損	726	—
固定資産除却損	388	238
特別損失合計	1,115	238
税金等調整前四半期純利益	650,453	522,527
法人税、住民税及び事業税	112,582	85,208
法人税等調整額	70,879	68,706
法人税等合計	183,461	153,915
四半期純利益	466,992	368,612
非支配株主に帰属する四半期純利益	96,976	101,968
親会社株主に帰属する四半期純利益	370,015	266,643

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	466,992	368,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△402	△92,053
繰延ヘッジ損益	10,539	△3,620
為替換算調整勘定	△53,843	46,444
退職給付に係る調整額	9,989	18,439
持分法適用会社に対する持分相当額	△7,298	—
その他の包括利益合計	△41,015	△30,790
四半期包括利益	425,976	337,821
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	347,667	221,882
非支配株主に係る四半期包括利益	78,309	115,938

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。